

第2回 第2次隠岐の島町総合振興計画審議会 議事録

- 1 日時 令和元年5月31日（金）10時00分～12時00分
- 2 場所 隠岐の島町役場2階第一会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員：16名中、出席者10名（欠席は、八島勝之委員、金田隆徳委員、崎美樹委員、藤野裕美委員、原田剛委員、新宮雄太委員）
藤田千鶴 会長、山下豊範 委員、齋藤正幸 委員、湊剛 委員、石川昭美 委員、横地廉平 委員、松浦誠二 委員、齋藤智美 委員、村上淳一 委員、助永恵里 委員
 - (2) 事務局
(地域振興課) 佐々木課長、黒川係長、泉企画幹
(エブリプラン) 森田取締役
- 4 次第
 - 会長あいさつ
藤田会長挨拶
 - 報告事項
 - (1) まちの現状と課題について
(株) エブリプランより説明
説明後質疑
 - 協議事項
 - (1) 今後優先して取り組むべき事項について
最初に各委員より意見発表
 - (2) 部会の設置について
 - その他
 - (1) 次回日程等について

〈配布資料〉

- ・議事次第
- ・基礎調査結果等の概要（事前配布資料）
- ・市町村別UI ターン者数

第2回 第2次隠岐の島町総合振興計画審議会

発言者	議 事
黒川係長	<p>(10時00分、開会)</p> <p>開会</p> <p>ご案内をいたしておりました10時になりましたので、ただ今から第2回第2次隠岐の島町総合振興計画審議会を開催したいと思います。まず、出欠の確認でございますが、本日5名の委員の方から欠席の連絡をいただいております。16名の審議会委員の方のうち出席者が過半数を超えておりますので本日の審議会が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>事務局の紹介</p> <p>(株) エブリプランの紹介</p>
藤田会長	<p>藤田会長挨拶</p> <p><藤田会長より挨拶></p> <p>今回の審議会の開催にあたりまして出席者の方は第一線で働いておられる方ばかりですが、貴重な時間を割いてご出席をいただき、心よりお礼を申し上げます。それぞれの年代やそれぞれの立場で意見や思いをどんどん正直に出していただきたいと思います。</p>
エブリプラン	<p>報告事項</p> <p><森田より事前配布資料の説明></p>
黒川係長	<p>地区別意見交換会について</p> <p><地区別意見交換会について黒川係長から説明></p> <p>地区別意見交換会を5つの会場で開催し、全会場を合わせておよそ80名の町民の皆様に参加いただきました。意見交換は、4~5名のグループに分かれて意見を出し合い、策定委員である役場職員がグループごとに取りまとめた意見を発表するという手法で行いました。その結果、出席された方一人一人の意見を聞くことができました。その内容につきましては、取りまとめたものができましたら審議会の委員の方にお配りいたします。前回の総合振興計画のとりまとめについては、もう少し時間をいただきたいと思います。6月中にはまとめたものを配布したいと考えています。</p>
横地委員	<p>事前配布資料についての質問</p> <p>配布資料の中で域内循環についてのデータがありましたが、直近のデ</p>

	<p>一タはないですか。感覚的にですが、域内循環が下がっている気がします。データが古いのではないのでしょうか。</p>
エブリプラン	<p>RESAS のデータを引用しておりますが、今回掲載しているデータが最新だったと思います。また確認します。</p>
湊委員	<p>現行計画の中に「隠岐びと」という言葉がでてきていますが、隠岐びとの具体的な定義はありますか。</p>
エブリプラン	<p>最近、関係人口というのが話題になっています。隠岐の島町に直接来なくても、隠岐の島町を応援してくれている人達や、隠岐の島町に関わりたい人達が居り、隠岐の島町に関しての情報発信をしてくれます。このような人達たちを含めて「隠岐びと」にしてはどうかと思っています。</p> <p>人口の自然減はどうしても止められないものですから、今後の計画を進める上では、居住している人口だけではなく、関係人口が重要になってくると考えています。</p> <p>また、これからは、生産年齢人口を如何に維持していくかが重要になります。隠岐に居なくても、隠岐の経済を助けてくれる人等を増やしていければよいかと思っています。</p>
横地委員	<p>関係人口について、もう少し詳しく説明していただけませんか。</p>
エブリプラン	<p>その土地に住んでいなくても、例えばクラウドファンディングをした時に協力してくれるなど、町のまちづくりへの協力や応援をしていただける方であり、いわば応援団のようなものと認識しています。</p>
横地委員	<p>ふるさと納税をしてくれる人も関係人口といえるのですか。</p>
エブリプラン	<p>ある意味ではそれも関係人口といえるかもしれません。</p>
横地委員	<p>資料を見たところ、隠岐に住み続けることに対して不安を感じている人が多いと感じましたが、その点はどうお考えですか。</p>
エブリプラン	<p>これから 6 月にかけて様々なステークホルダーの方と話をしていく中で現在の課題がさらに明らかになってくると思います。離島という状況でも、安心して住める環境をつくるのが大切です。</p>

	<p>隠岐の島町は、一人当たりの所得は他の市町村と比較しても高いですが、仕事に関する施策への評価が低い状況にあります。生活への不安を解消することに加えて、働いて楽しく過ごせる島であることをPRし、隠岐の島で仕事をする人を集めることが、結果として安心して住める環境に繋がると考えています。そのためには、観光というのが一つの軸となります。観光振興によってさらに雇用が生まれるのが理想であり、前回の総合計画でもその戦略が一つの柱になっています</p>
藤田会長	<p>他に配布資料を読んで感じたことがあれば、ご意見をお願いします。</p>
齋藤正幸委員	<p>総合振興計画は10年間の目標を作るということですがどこまで具体化されるのでしょうか。今の話では非常に抽象的で精神論のように思えます。結局、具体的に何をどうしていくか決めていかないと物事は進まないと思います。この会ではどんなことを審議していくのでしょうか。抽象的な話だけであればあまり参加する意味が無いように思います。</p>
佐々木課長	<p>今まで全国の自治体がこういった総合計画を作っていますが、近年はKPIをしっかりと定めてまちづくりを行う流れができています。今回の総合振興計画でも5年間でしっかりした重点目標を定め、もちろん数値目標も定めます。それに沿った進行状況の管理や検証を行いながら数値目標を達成していくような計画にしていこうと考えています。</p>
エブリプラン	<p>町の最上位計画になるので、基本構想といわれる部分は抽象的になります。まずは、町民の方にとって目指す方向性を理解しやすいよう抽象的な表現で基本構想を定め、その後に基本構想に基づいてブレイクダウンしていきます。</p> <p>まず何をやるべきか、というのが基本計画であり、次に基本施策が続き、最後に実施施策として具体的な事業がぶら下がります。これらが全て積みあがった体系が総合計画です。これらは上から下まで整合がとれた計画にしないとイケません。</p>
藤田会長	<p>次の審議会までには前回の総合振興計画の振り返りなどができます。結局10年後に隠岐の島町をみなさんが望む姿にするためには何をすべきなのでしょう。</p> <p>まずは、隠岐の島町が10年後こうなっていてほしいという思いを挙げて頂き、整理をしながら進めていこうと思います。</p>

石川委員	<p style="text-align: center;">各委員からの意見発表</p> <p>今一番問題なのが、「安心して暮らせる保健医療」や「安心安全で快適な生活環境」であるなというのが、配布資料から分かりました。しかしこうありたいという思いがありすぎて、どこを言えばよいかわからないというのが正直な気持ちです。</p> <p>私は小売業をしているので経済の流れをしっかり追っていくべきだと考えます。まずUI ターンをするためには、勤め先がないといけません。勤める先を確保するためには、小売業や建設業など企業を存続させていくのが大事であり、お金の流れをどうやって作っていくのが一番の問題だと考えます。また観光によってどのような経済効果が表れているかという具体的な数値が見たいです。</p>
齋藤正幸委員	<p>隠岐の島町で生活して 40 年近くが経ちます。時代の変化を踏まえて、将来の世代が魅力を感じる島になるようなまちづくりが重要だと考えます。</p>
湊委員	<p>漁師をやっています。観光についてですが、観光客がバイ貝などの隠岐の地元のを地元で買ったり食べたりすることのできる環境をつくるべきだと思います。</p>
山下委員	<p>総合振興計画を策定して、具体的に目に見える成果があったかといえは疑問です。人口の問題が非常に重要だと思います。全国的な傾向ですが、高齢化・人口減少によって隠岐の島町でも人手不足の問題があり、従業員がいないと困っている声を聞きます。</p> <p>人口をこれ以上増やせないのであれば逆にこの状況を逆手に取って住民を巻き込みながら思い切った施策が必要だと思います。</p>
村上委員	<p>すべての課題がつながっているように思われます。仕事がないので島から出た人が帰ってこない、帰ってこないで子供が減っていくという負のスパイラルが生まれています。</p> <p>山下委員と同様に思い切った施策が必要だと思います。例えば、子育てや教育に関わる費用をすべて無料にする等、思い切った面白い取り組みをしていかないとこのままジリ貧になって沈んでいってしまいます。</p> <p>また、ネット通販等を通じて島の富が流出してしまうのを食い止めていく必要もあります。そのために具体的な対策について本気で考えていかないといけないと考えます。</p>

横地委員	<p>メンバーがそれぞれの産業のプロフェッショナルなので全体の話をしてますと抽象的にならざるをえないと思います。</p> <p>隠岐の島町を車に例えると、それぞれの産業が部品や燃料であり、住民は車に乗る人、行政はメカニックに例えられます。総合振興計画の策定は、車をカスタマイズすることです。燃料不足や部品の不備があれば車は動きません。各主体が良い車にするために協力しながらやっていくのが一番重要であると思います。</p>
齋藤智美委員	<p>結局のところ、人が大事だと思います。根幹となる教育や子育ての方にもう少し力を入れて進めていければよいと考えます。隠岐の良いところを繋いでいける、子育てをしていけるまちづくりを目指してほしいです。そして具体的になにをするかという場面でこそ町民の声を拾ってほしいです。</p>
助永委員	<p>今後ますます高齢者は増えるので、まずは高齢者の方が過ごしやすいうちに整備することが重要だと考えます。</p> <p>また、先ほども話がありましたように島内での消費を維持し経済循環を維持することも重要ですが、観光等を通じて外貨を稼ぐことも重要であると思います。また観光に関連して関係人口も非常に重要であると思います。</p> <p>家族経営の方も多くおられるのでもう少し連携をして一枚岩になっていろいろ進めていければと思います。</p>
松浦委員	<p>○ 高齢者対策</p> <p>高齢者の人口は増えていきますが、支える側の人口は減っていき、高齢者の単身世帯が増えてきています。そうした方たちは判断能力も落ちてきています。こうした状況で単身世帯の高齢者の権利をどうやって守っていくのが課題になっています。後見人制度などの活用がまだ進んでおらず、隠岐の島町内で具体的な動きがまだございません。町の責務としてしっかりと考えないといけません。現在郡内で20~30人がこの制度（弁護士など）を利用していますが、今後受け皿をどうやって確保していくのが課題となっています。</p> <p>○ 保健・医療・福祉</p> <p>現在、町では総合福祉計画というのを作成しています。抽象的でわかりづらい面もありますがこれとの整合性を取っていく必要があります。</p>

す。

○ 生活環境について

現在、町からの情報伝達は回覧などに頼っていますが、情報の伝達の方法には改善の余地があると思います。普及しつつある光ケーブルを利用し、ケーブルテレビの活用など検討すべきであると考えます。

○ 介護人材の確保について

現在、広瀬の福祉専門学校のサテライトオフィス設置の関係で研修や人材確保ということの取り組みをしています。まだ始まったばかりでどういった成果がでるのかは未知数ですが、介護人材の確保のためにも様々な分野と連携して学校の招致などもできるようにになれば、と思います。

○ 生活者として

自治会の役員をしています。家の近くに岩ガキを養殖している業者があり、東京から岩ガキの養殖をしたいという移住希望がありました。役員として対応しましたが、地区には空き家はあるが住めるような空き家は無く、住むには高いハードルがあると感じました。UI ターンする方のニーズに沿って調整をしていただいて、定着に結び付けるような在り方も検討してもらいたいと思います。

部会の設置について

<策定委員会（役場職員）が3部会を設置していることに併せ、審議会にも3部会を設け、審議会と策定委員会との部会で意見交換ができる体制を整える。>

佐々木課長

次回審議会の日程について

<次回審議会の日程等について説明。>

先週から各地区で意見交換会を実施していますが、引き続き、6月からは様々な団体の方と意見交換会を行っていきます。そしてその結果を集約して皆さんにフィードバックをしようと考えています。

次の審議会は7月12日に開催を予定しています。講師として、人口1%田園回帰戦略を提唱しておられる藤山先生をお招きして講義をしてもらった後に、策定委員（役場職員）との合同会議を実施します。時間設定等は講師と調整した後に連絡します。

横地委員	エブリプランはどういった立ち回りをするのですか。
佐々木課長	あくまで支援業務を行ってもらい、コアの部分は役場が行います。例えば今回配布したような資料のデータ収集や議事録の作成等、後方支援をお願いすることとしています。
エブリプラン	観光振興の立場からも、隠岐の良いものはそのまま残し、改善していくものは改善していくという方向で進めていきたいと考えています。みなさんにヒアリング等協力を頂くこともあるかと思いますがご協力いただきたいと思います。
石川委員	<p>小中高にアンケートを取った時に選択肢ではなく、具体的な理由や要望を書く自由記述欄がアンケートの中にあっただけでしょうか。もしあれば、それを参考に話ができると思います。</p> <p>高校生に就職先を聞いたところ、大阪で製造業に就くという答えが返ってきました。隠岐の島町の製造業のことは知らなかったようです。</p> <p>高校生の意見や悩みなどを吸い上げる場所があり、そこで出た意見を提供できる場があれば新しい発見をする機会になると思います。</p>
横地委員	自分の意見や要望を町に届ける場所は用意されていますが、誰もが積極的に発言できるわけではございません。声なき声を聴けるシステムの構築は必要だと思います。
齋藤智美委員	資料のアンケートの部分で「その他意見」のところは数字だけになっています。書く人は思いをもって書いているので、この部分を見るだけでも多くの人の声を拾えるようになると思います。
佐々木課長	アンケートのコメントはすべてまとめているので、審議会の皆さんにお渡ししたいと思います。
藤田会長	<p>情報発信ですが、総合振興計画の策定過程の情報が意外と住民に知らされていません。自分の声を届けることで計画が少しずつでも変わっていくことを住民に理解してもらいたい思いがあります。</p> <p>また、この会議の場がそれぞれの分野の情報を提供していく場になってもいいと思います。それを参考にして先に進むような形をとっていかうと思っています。</p>

佐々木課長	<p>本当に良い会となったと思っています。ありがとうございました。</p> <p>情報という話が出ましたが、事務局として、町の最上位の計画を作るにあたって「情報公開」が一つのキーワードだと考えています。一つ一つの策定過程を住民の方にお知らせするのも重要だと感じており、情報を随時HPでお知らせしています。今後も様々な媒体を通じて策定過程を伝えていこうと思っています。</p> <p>今後多くの皆さんに来ていただけるようなシンポジウムも計画しています。</p> <p>次回からも引きつづきよろしく申し上げます。</p> <p>閉 会</p>
-------	---